

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
目次	1-1 政策タイトル 「市民参画でつくる協働のまち」から	「協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち」へ政策の内容が、協働のまちをつくるための第一歩となる施策群となっていることから、その内容に合わせ、政策タイトルを変更	庁内検討による修正
	2章 タイトル 「域内経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田」から	「地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田」へ域内と地域という表現が意図なく混在していたことから、地域に統一	庁内検討による修正
	4章 タイトル 「それぞれの暮らしに合ったサポートがある酒田」から	共生社会の理念を表現するため、「暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支えあうまち酒田」と修正。	審議会意見による修正 庁内検討による修正
	5 土地利用構想 (1) 土地利用の基本方針 (2) 土地利用の基本的配置 (3) 土地利用区分別の基本方向	5 土地利用構想 (1) 土地利用における基本的条件の変化と諸課題 (2) 土地利用の基本方針 (3) 土地利用区分別の基本的配置	庁内検討による修正
はじめに (1) 総合計画の意義	(1) 総合計画の意義の中ほどの段落	将来を見通すことができないと言い切っている表現が気になるという指摘により、「人口減少により今後様々な課題が待ち受けると思われる社会情勢の中でも」と修正	審議会意見による修正
		協働のイメージを出すために、市民だけでなく行政という文言も入れたほうが良いという指摘により、「市民と行政のパートナーシップのもと」と追記。	審議会意見による修正
はじめに (4) 将来推計人口	—	「人口の将来展望」に人口減少が進行した場合どういった懸念があるかを追記。それを改善するため本計画があり、各政策・施策があるという流れがわかるような文章を追加記載	庁内検討による修正
はじめに (5) 総合計画未来会議	—	未来会議の取組み経過や、市民意見反映について目立つところに記したほうが良いという指摘により、(5)として未来会議についての記載を追加。	審議会意見による修正
基本構想	P 6	はじめに(3)総合計画の構成で記した内容を再掲	庁内検討による修正
	「対話を通じた市民の参加があふれるまち」の説明文	対話を通じた市民の参加とあるが、何のためにというところが明確になっていないとの指摘を受け、説明を追記。	審議会意見による修正
	「誰もがいきいきと暮らし「住み続けたい」と思えるまち」の説明文	基本構想の一部に、医療や福祉というキーワードを入れてほしいという指摘により、説明を追記。	審議会意見による修正
	(2) 政策の体系(具体的なめざすまちの姿)	目次と同様に、一部タイトルを修正	庁内検討による修正
基本計画	P 10	はじめに(3)総合計画の構成で記した内容を再掲 + 「市民のできること」は市民提案で構成している旨を記載	審議会意見による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
1-1 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち	—	【市民参加・市民協働の推進】を追加 ・まちづくりに対する「市民の力」の必要性 ・対話を通じた相互理解や地域課題の気付きが市民主体のまちづくりにつながる ・市民協働を推進する市の組織体制の強化	審議会意見による修正 庁内検討による修正
	—	【広聴の充実】 成果指標に「市政に参画（参加）する機会が増えてきたと感じる市民の割合」を追加。	庁内検討による修正
	—	【地域共創人材の育成等】 地域共創コーディネーターが養成後どこに属してどう活動してもらいたいのか具体的なイメージが必要との指摘により、活躍を想定する分野を記載。	審議会意見による修正
	—	【広報の充実】 市ホームページについての課題、方向性、成果指標を追加	庁内検討による修正
	—	市民ができることに未来会議意見により追記	未来会議意見による修正
1-2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」	—	【東北公益文科大学との連携】 ・大学の「大人の学び場」としての機能充実に向けた連携を大きい項目として修正。大学の生き残り策として重要	庁内検討による修正
	—	【東北公益文科大学との連携】 IT関連のキャッチフレーズについては、公益大と連携し、最終案までに検討することとする。	審議会意見による修正 庁内検討による修正
	—	【東北公益文科大学との連携】 成果指標を設定し直した。	庁内検討による修正
	—	市民ができることに未来会議意見により追記	未来会議意見による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
1-3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	【確かな学力の向上】 「共生社会の形成に向け、教員や教育支援員の研修を充実し」と記載	【確かな学力の向上】 ・福祉教(共)育の視点を盛り込むべきという意見を受け、 「共生社会の形成に向け、障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶ仕組みの構築を目指し」と内容を修正 ・標準学力検査の説明を入れるべきとの意見を受け、追記	審議会意見による修正
	—	【豊かな心と健やかな体の育成】 トップアスリートになるには、強化の視点が必要という意見を受け、内容を追記	審議会意見による修正
	—	【学校・家庭・地域との連携】 ・地域と連携したボランティア活動を推進すべきという意見を受け、文言を追記し、成果指標を修正	未来会議意見による修正
	—	【教育環境の整備】 成果指標が「トイレの改修率」だけでいいのかという意見を受け、学校施設の耐震化の割合を追記	審議会意見による修正
	—	市民ができることに未来会議意見により追記	未来会議意見による修正
1-4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	—	【社会教育】 成果指標をより端的に表す指標に変更	庁内検討による修正
	—	【スポーツ】 障がい者スポーツの視点を盛り込むべきという意見を受け、文言を追記	審議会意見による修正
	—	市民ができることに未来会議意見により追記	未来会議意見による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
2-1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち	—	現状における課題【商業】 にぎわい、商業販売力が低下している原因を追記	庁内検討による修正
	—	現状における課題【商業】 年間商品販売額（H19→H24）の減少の原因を追記	審議会意見による修正
	—	今後の方向性と主な施策【商業】 「希望ホールイベント等の参集力を活かした中心市街地への誘導」を追記	庁内検討による修正
	—	関連個別計画 「地域産業支援基本方針」を追記	庁内検討による修正
2-2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち	—	現状における課題【使いやすい酒田港の推進】 「臨港道路の交通量増加」を追記	審議会意見による修正
	—	今後の方向性と主な施策【使いやすい酒田港の推進】 「周辺の道路環境等を含む」を追記	審議会意見による修正
2-3 地元でいきいきと働くことができるまち	—	現状における課題及び今後の方向性と主な施策 分野毎に整理	庁内検討による修正
	—	現状における課題 女性、高齢者の活躍における課題を追記	庁内検討による修正
	—	今後の方向性と主な施策 雇用のミスマッチ解消及び高齢者の就業機会の確保の施策 を追記	庁内検討による修正
2-4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち	記載なし	担い手の確保・育成の主な施策として、「農繁期の労働力確保を推進する取り組みを支援」することを記載	審議会及び未来会議意見による修正
	農工商連携の推進の主な施策として、「生産工程管理等に対する取り組みを支援」することを記載	「山形県GAPの普及・定着、第三者認証GAPの取得の推進」に修正し、GAPの注釈を記載	審議会及び未来会議意見による修正
	市民ができることとして、「酒田産農産物・農産加工品を積極的に食卓に取り入れ、フードマイレージの短縮に努める」、「農業に親しみ安心安全な食の生産現場を知り、郷土料理、行事食などの伝統的な食文化の継承に努めながら、その魅力を発信する」ことを記載	「農業に親しみ安心安全な食の生産現場を知り、米・野菜・果樹等の酒田産農産物・農産加工品を積極的に食卓に取り入れる」、「郷土料理、行事食など伝統的な食文化を継承し、酒田産農産物等を含めた魅力を発信する」に修正	未来会議意見による修正
2-5 100年続く森林を造り、活かすまち	今後の方向性と主な施策として、持続可能で収益性の高い森林経営の推進について記載	持続可能で収益性の高い森林経営を推進するために、「適切な時期に伐採」することを記載	議会意見による修正
2-6 恵み豊かな水産を活かすまち	水産資源の確保とブランド化の今後の方向性として、「中型いか釣り船によるスルメイカの酒田港への水揚げを促進」することを記載	小型いか釣り船による水揚げ促進も必要であることから、「中型」を削除	審議会意見による修正
	記載なし	庄内浜産水産物の認知度向上・消費拡大の主な施策として、「庄内浜文化伝道師等による魚食普及活動に対する支援」を記載	未来会議意見による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
3-1 移住者定住者が増えるまち	今後の方向性として移住相談窓口と支援策の充実について記載	移住後のフォローアップに関する文章を追記し、具体的な取り組みとして移住者交流会の開催について記載	庁内検討による修正
		「お試し住宅」について今後の多様な使い方を見据え、その「活用」という文言を追加	未来会議意見による修正
	今後の方向性としてPRの強化について記載	ターゲットを「働き盛り世代」「子育て世代」と明記し、様々なメディア媒体の積極活用について記載	未来会議意見による修正
	医療機関や大学等を活用した元気高齢者の移住促進について記載	地域での支え合いの仕組みの活用に関する文言を追加	審議会意見による修正
3-2 「おもてなし」があふれ、交流でうらやま	今後の方向性として戦略的な交流事業、情報発信の推進について記載	観光客を増加させ、地域へ経済効果をもたらすための事業、情報発信であるという方向性を明記	庁内検討による修正
		具体的取り組みとしてMICEの誘致推進に関する記載を追加	庁内検討による修正
		具体的取り組みとして観光案内所ほか多様な受入体制の整備推進についての記載を追加	庁内検討による修正
	姉妹都市・友好都市との交流について記載	姉妹都市・友好都市との交流が人材育成を目的としたものであることを明記し、観光事業と区別化	庁内検討による修正
	ふるさと納税の増加推進について記載	具体的な取り組みとしてガバメントクラウドファンディングの活用について記載	庁内検討による修正
	市民と行政が一体となった「おもてなし」と情報発信について記載	「酒田ファン」を増やすことを目的にすることを明記 具体的な取り組みとして、観光地域づくりプラットフォームの構築に関する記載を追加	庁内検討による修正
3-3 「港」発の交流で賑わうまち	—	今後の方向性と主な施策【庄内空港の利用拡大】 利用者（ビジネス及び観光客）の増加への取組みを追記	庁内検討による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
4章	章タイトルとしての「それぞれの暮らしに合ったサポートがある酒田」	共生社会の理念を表現するため、「暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支えあうまち酒田」と修正。	審議会意見による修正 庁内検討による修正
4-1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち	現状における課題に地域包括ケアシステムの構築による地域づくりに取り組んでいく必要性を記載。	それぞれの実情に応じた取り組みを構築しながら、地域づくりに取り組んでいく必要があると修正。	庁内検討による修正
	現状における課題として、個別の相談内容についての複雑・困難化について記載。	個別課題についての現況に生活困窮についても言及し、複合的な課題であるとして、今後の方向性について障がい者や生活困窮者の自立促進、主な施策で自立支援施策の推進について追記。	審議会意見による修正
	現状における課題で、福祉サービス利用援助事業、成年後見制度の利用者増加が高齢化により見込まれると記載。	認知症高齢者など、更なる利用者の増加が見込まれると記載。	庁内意見による修正
	現状における課題として、障がい者の地域社会における共生の実現に向けて、と記載。	障がい者が地域社会において積極的に参加・貢献できるようと分かりやすい表現に修正。	庁内検討による修正
	成果指標に、孤立死、相談死亡事例0件を記載。	就労を目指す生活困窮者のうち、就労した者の割合と修正。	審議会意見による修正
	【男女共同参画社会】の成果指標：ジェンダーによる不平等感を感じる市民の割合、「山形いきいき子育て応援企業」の市内認定団体数(H29.3)46社→(H34)63社	施策を詳しく記載するとともに、男女共同参画推進センター「ウィズ」の運営を追記。 成果指標：日常生活において性別による不平等感を感じる市民の割合の減少(H25)44.9%に変更。「山形いきいき子育て応援企業」の市内認定団体数(H29.3)46社→(H34)63社は、4-2子育て支援の項目に変更。	庁内検討による修正
4-2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち	現状における課題として、現在の支援体制の中では妊娠期からの十分な支援が出来ていないと記載。	「ぎゅっと」が開設されているため、関係機関と連携した支援体制が必要と修正。	庁内検討による修正
	今後の方向性で保育所等の施設定員の検討について記載。	学童保育所等を加え、定員と施設整備の検討と記載を修正。あわせて成果指標にも学童保育所等の待機0人を追加。	審議会意見による修正
	成果指標に虐待相談に対する速やかな対応（48時間以内）した件数の割合を記載。	国の児童相談所運営指針によるものであることを追記。	議会意見による修正
4-3 健康でいつまでも活躍できるまち	今後の方向性で効果的な胃がん発症の予防に取り組むと記載。	内視鏡検査等新たな検診導入などにより、効果的ながん対策に取り組むと具体的に記載。あわせて成果指標にがん検診受診率を追加。	庁内検討による修正 未来会議意見による修正
	—	今後の方向性と主な施策に、ライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくりの推進を追記。	庁内検討による修正
	こころの健康の成果指標に、自殺死亡率を記載。	成果指標を厚生労働省の示す大綱に合わせ修正、あわせてサポーター養成数を追加。	議会意見による修正 庁内検討による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
5-1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち	地域（コミュニティ振興会、自治会）は、	コミュニティ振興会、自治会は、	審議会意見による修正 庁内検討による修正
	「460の自治会」と記載。	内訳を脚注に記載	審議会部会での質問に対応して追記。
	成果指標：地域住民自らが主体となった地域のありたい姿を描いた計画（ビジョン）の策定 5年間で〇〇地域	成果指標：「6地域」と設定	庁内検討による修正
5-2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち	成果指標：省エネや節電に取り組む世帯の割合90%以上	(H26)72.1% → (H34)90%以上	庁内検討による修正
	成果指標：美化サポーター登録人数(H28)11,913人→(H34)〇〇人	(H34)12,300人を追記	庁内検討による修正
	—	個別計画に「芸術文化振興計画」を追加	審議会意見・庁内検討による修正
5-3 地域との連携でつくる安全・安心なまち	【耐震化】と記載。	【建築物の耐震化】とし、「建築物の地震に対する安全性向上に関する啓発・PR」を追加。	審議会意見・庁内検討による修正
5-4 「暮らしの足」が維持されるまち	—	現状における課題【定期航路】 課題を具体的な内容に修正するとともに、航海数の実績を追記	庁内検討による修正
	—	今後の方向性と主な施策【定期航路】 安全教育、出欠航判断に関する記述を追記	庁内検討による修正
	【定期航路】 成果指標 定期船の安全運航に支障を来たす事故発生件数	成果指標 年間計画航海数 に変更	審議会意見による修正
6-1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち	—	中心市街地の課題、特に商業、観光の各指標の低下を踏まえた今後の方向性について文言を追加 【中心拠点における都市機能の再生】 中心市街地において中心拠点地区の位置づけを行い、民間、商業・観光振興施策等と連携し、相乗効果を狙った都市機能の再生・更新を図り～	庁内検討による修正
	市民ができることとして、「コンパクトシティを意識した取り組み」を記載	「まちなかの良さをまわりの人に伝えたり、SNS等でPRする」に変更	未来会議意見による修正
	—	個別計画に「芸術文化振興計画」を追加	審議会意見・庁内検討による修正

政策タイトル	第二次原案「素案」	第二次原案	備考
6-2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち	高速道路等の今後の方向性で、【日本海沿岸東北自動車道】、【地域高規格道路 新庄酒田道路】の順で記載。	【地域高規格道路 新庄酒田道路】、【日本海沿岸東北自動車道】の順に変更。	庁内検討による修正
	山形新幹線庄内延伸、羽越本線の高速化それぞれについて課題・方向性を記載	山形新幹線庄内延伸及び羽越本線高速化を一本化し、現状を【鉄道（在来線）】として鉄道全般の課題を記載、今後の方向性と主な施策を【鉄道（在来線）高速化の促進】と修正し、高速化に関する方向性を記載。また、「中速鉄道という整備手法による山形新幹線庄内延伸の可能性の検討」を追記。	議会意見・庁内検討による修正
	—	現状における課題に酒田駅及び在来線の利用状況に関する表および考察を追加し、今後の方向性の【在来線の利用促進・利便性向上】の成果指標を「酒田駅の年間乗車人員」に修正。	庁内検討による修正
6-3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	【上下水道事業】 今後の方向性で「経営基盤の強化を図るとともに、広域連携を推進します。」と記載	【上下水道事業】 「経営基盤の強化、広域連携」の具体的な方策を明記	庁内検討による修正
	市民ができることで、下水道接続による水洗化普及・河川環境保全への協力、下水道への汚濁負荷の抑制（固形物や油などを流さない）と記載	「今ある施設を大切に使い、未来に残していくこと」を追加し、「下水道接続による水洗化普及・下水道へ固形物や油などを流さない」に修正	未来会議意見による修正
行財政運営の方針	—	全体的に市民が読みやすい、わかりやすい文言・言い回し、レイアウトに修正	庁内検討による修正
	効率的な行税制運営のため、ニーズへの的確な対応、事業の見直し、職員の人材育成について記載	成果志向の視点と職員の意識啓発に関する文言を追記	庁内検討による修正
	持続可能な財政基盤の確立について現状と方向性を記載	健全な財政運営の推進の中に新公会計制度の活用に関する記載を追加	庁内検討による修正
土地利用構想	—	総合計画における土地利用構想の位置付けを明確化。	庁内検討による修正
	—	「土地利用における基本的条件の変化と諸課題」を追加し、課題に対する基本方針を明確化。	庁内検討による修正

担当部等
市政推進調整監
商工観光部長、 農林水産部長、 水産林政調整監
健康福祉部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長

担当部等
総務部長
市政推進調整監
企画振興部長
市政推進調整監
市政推進調整監、 企画振興部長、 市民部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長

担当部等
教育部長
教育部長
教育部長
教育部長
教育部長
教育部長
教育部長
教育部長

担当部等
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
農林水産部長
農林水産部長
農林水産部長
水産林政調整監
水産林政調整監
水産林政調整監

担当部等
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
企画振興部長
市政推進調整監、 商工観光部長
市政推進調整監、 商工観光部長
市政推進調整監、 商工観光部長
市民部長
市政推進調整監
市政推進調整監、 商工観光部長
商工観光部長

担当部等
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
市民部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長
健康福祉部長

担当部等
市民部長
市民部長
市民部長
市民部長
建設部長
教育部長
建設部長
商工観光部長
商工観光部長
商工観光部長
企画振興部長
企画振興部長
教育部長

担当部等
建設部長
企画振興部長
企画振興部長
上下水道部長、 上水道技監
上下水道部長、 上水道技監
総務部長
総務部長
総務部長
企画振興部長
企画振興部長